

38. 熊本大学埋蔵文化財調査センター改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況① (H27. 12. 1現在)	改善状況② (H28. 12. 1現在)
研究	(法人評価までに改善する計画) 研究活動の推進に取り組むために、研究活動時間の確保にむけて施設と協議する。 構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究を検討する。	研究活動の推進に取り組むために、研究活動時間の確保にむけて施設との協議をセンター会議(全員参加の定例会議)で検討している。構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究をセンター会議で検討している。	研究活動の推進に取り組むために、研究活動時間の確保に向けて施設との協議を実施した。構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究の具体化については、センターの会議で引き続き検討している。
	(2年間で改善する計画) 研究活動時間の確保を数値で示す試みを開始する。 構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究を計画する。	研究活動時間の確保の方法を検討中である。共同研究のための基礎的作業を開始した。	研究活動時間の確保の方法を決定、実施した。センター規則を改定し、センターの設置目的および業務に「研究」を加え、教員の研究活動環境を整備した。発掘調査を活かした関連分野との共同研究を継続している。
	(次の組織評価までに改善する計画) 研究活動時間の数値による確保を実現する。構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究を実施する。	研究活動時間の数値による確保の実現方法を検討している。構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究の基礎作業を開始した。	研究活動の推進のため、各教員が1週間内に一定の研究活動時間を確保できるよう、スケジュールを調整している。これによって1ヶ月に平均約15時間の研究専念時間を確保している。構内遺跡の発掘調査を活かした関連分野との共同研究の基礎作業を継続している。
社会貢献	(法人評価までに改善する計画) 本センターのもつ情報をより効果的に学外に発信し、調査成果を広く社会に伝えるため、センター内の展示室を充実させる。社会貢献の視点を文化財散歩の実施やホームページを通して明示する。	展示室において発掘調査速報展を開催し、センター内の展示室を充実させた。文化財散歩で本センターの社会貢献活動を説明した。ホームページにおける社会貢献活動の広報で社会貢献の視点を明示した。	展示室において2016年度発掘調査速報展を開催した。今年度は煉瓦にテーマを絞り、熊本地震による被害状況をとりいれて、復興へのメッセージを発信した。文化財散歩を黒髪・本荘キャンパスの2箇所で開催し、内容を充実させた。ホームページにおいて社会貢献活動の視点を明示した。
	(2年間で改善する計画) 展示室において発掘調査速報展を開催する。文化財散歩の対象地区を拡大する。ホームページに社会貢献活動の成果や計画を表示する。	展示室において発掘調査速報展を開催した。文化財散歩を本荘地区でも開催した。平成28年度には社会貢献活動の開催結果をホームページに掲載することを計画している。	展示室において2016年度発掘調査速報展を開催した。文化財散歩は昨年度に引き続き黒髪地区と本荘地区で開催した。平成28年度の社会貢献活動の開催結果のホームページへの掲載を準備している。
	(次の組織評価までに改善する計画) 展示室におけるテーマ展示を開催する。文化財散歩を充実させる。ホームページを更新する。	平成30年度までにテーマ展示を実現する予定。平成27年度に文化財散歩を充実させた。平成28年度にホームページの更新を行う予定。	平成30年度までにテーマ展示を実現するための基礎作業を開始した。平成28年度の文化財散歩を充実させた。ホームページの英語版を作成した。このほか学内職員の協力を得て黒髪キャンパスの遺跡サインと連動した「クマダイ遺跡巡り」のスマートフォン用アプリを開発し、配信を開始した。
国際化	(法人評価までに改善する計画) 国際化実現のために、センター常設展示の多言語化、報告書要旨の多言語化を計画する。	センター常設展示の英語キャプションを設置した。報告書要旨の多言語化へ向けての取り組みの準備を行っている。平成28年度に報告書要旨の英語版を実現する予定である。	センター速報展示の英語キャプションを設置した。平成28年度報告書要旨の英語版を作成中である。
	(2年間で改善する計画) センター展示室のキャプションの多言語化に取り組む。報告書の要旨を作成し、英訳を付す。	センター展示室の英語キャプションを設置した。平成28年度には、報告書要旨の要旨を作成し、英訳を付す予定である。	センター展示室の英語キャプションを更新した。平成28年度報告書要旨の英語版を作成中である。
	(次の組織評価までに改善する計画) センター展示室の説明パネルの多言語化にとりくむ。報告書要旨に中国語またはハングルを付す。	センター展示室の説明パネルの多言語化に取り組むことを予定している。報告書要旨に中国語またはハングルを付すことを計画している。	センター展示室の説明パネルの多言語化に取り組む方法を検討中である。平成29年度の報告書要旨に中国語またはハングルを付すことを計画している。「地下の文化財」(本荘地区)版のハングル版の準備を進めている。
その他 (教育研究支援)	(法人評価までに改善する計画) 授業等での展示室の活用、構内遺跡の調査成果の普及、及び教員に対する情報提供を継続する。	授業での展示室の活用を実施した。構内遺跡の調査成果の普及のため現地説明会・文化財散歩・速報展を開催し、その情報提供を教員に対して行った。	授業での展示室の活用を引き続き実施した。構内遺跡の調査成果の普及のため文化財散歩・速報展・速報展説明会を開催した。簡便な解説資料を作成し、教員に提供する情報を質的に向上させた。
	(2年間で改善する計画) 授業等での展示室の活用、構内遺跡の調査成果の普及、及び教員に対する情報提供を、量的に拡大する。	授業での展示室の活用を実施した。また文化財散歩の教員への情報提供を実施し、学生参加が20名から28名(前年比140%)に増加した。	授業での展示室の活用を引き続き実施した。また文化財散歩の教員への情報提供を実施し、学生参加が28名から45名(前年度比160%)に増加した。
	(次の組織評価までに改善する計画) 授業等での展示室の活用、構内遺跡の調査成果の普及、及び教員に対する情報提供の質的向上にむけた見直しを行う。	授業等での展示室の活用、構内遺跡の調査成果の普及、及び教員に対する情報提供の質的向上にむけた見直しを行うことを、センター会議で検討している。	展示室の展示台の高さを調整するなどしてより見やすい展示を実現した。さらに企画展示の期間を新年度まで延長し、新入生へのアピールを強化して、前期授業における活用の利便性を高める計画である。その他文学部の専門科目と教養科目の授業において講義内容に対応する4コマを担当し、学内遺跡や埋蔵文化財の保護について講義した。

その他 (男女共同参画)	(法人評価までに改善する計画) ワークライフバランスの実現のために、本学育児・介護支援制度の周知と、該当者がでた場合にはその実現に取組み利用を推進する。	本学育児・介護支援制度の周知を行った。必要な際に育児支援を行うことを、該当者に伝えた。	本学育児・介護支援制度の周知を行った。必要な際に育児支援を行うことを、該当者が理解している。
	(2年間で改善する計画) 本学育児・介護支援制度の周知と、該当者がでた場合にはその実現に取組み利用を推進する。	本学育児・介護支援制度の周知と、該当者について支援することをセンター会議で決定した。	本学育児・介護支援制度の周知と、該当者について支援することをセンター会議で決定、確認している。
	(次の組織評価までに改善する計画) 本学育児・介護支援制度の周知と該当者がでた場合にはその実現に取組み利用を推進する。	本学育児・介護支援制度の周知と、該当者について休日取得の実現をセンター会議で検討している。	本学育児・介護支援制度の周知と、該当者について休日取得の実現をセンター会議で引き続き検討している。
管理運営	(法人評価までに改善する計画) センター会議を勤務時間中に開催するために、関係部局と協議を開始する。	センター会議を勤務時間中に開催し、関係部局との協議を開始した。	関係部局との協議の結果、センター会議を勤務時間中に開催することになった。
	(2年間で改善する計画) センター会議を勤務時間中に開催する。	センター会議を勤務時間中に開催している。	勤務時間中におけるセンター会議の開催が定着し、このための残業が激減した。